

スリーハート

第 5 号 平成 2 5 年 9 月 1 8 日 (水) 発行

立秋も過ぎ、朝夕の風に秋の気配が感じられる季節となりました。二学期が始まり、甚目寺西小の一大イベント「運動会」に向けての練習が順調に進み、運動場や体育館には、子どもたちの元気な声が響いています。

『交流活動』を中心に据えた教育活動を展開している今年の甚西丸。運動会においても、“人”との温かいかかわりを通して、子どもたちが、互いを思いやることの大切さを学び取ってくれることを願って活動を計画し、練習に取り組んでいます。また、今年も地域の方々とのふれあい競技を用意してします。子どもたちのご家族・ご親戚の方々はもとより、地域の学校として、多くの方に足を運んでいただけたら幸いです。

先日の時ならぬ大雨により、甚目寺地区も各所で道路が冠水していました。電車が止まり、名古屋駅は、帰宅できない多くの人であふれかえっていたそうです。9月は防災について考える月で、1日が「防災の日」と定められています。大正12年に、甚大な被害を出した関東大震災にちなんだものであるとともに、例年、9月1日付近は、台風の襲来が多いとされる二百十日にあたり、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められているそうです。甚目寺西小学校でも、後述のように、いつ起きるかわからない災害に対応できるよう、避難訓練のあり方を模索しています。この機会に、ご家庭でも、避難場所の確認や緊急時の連絡の方法など、自然災害について話題にしていただけたらと思います。

9月5日(木)

今回は、休み時間に地震が襲ってきたことを想定しての避難訓練を実施しました。今までは、全員が教室等の一箇所に集まった状態での訓練でしたが、今回は全員が自由に動いている**休み時間中の避難訓練**ということで、普段より時間はかかりましたが、本番さながらの訓練ができたように思います。また、本校は、地盤が低い甚目寺地区にあるということで、地震により河川の堤防に被害が出たことを想定して、**二次避難**も実施しました。予告なしでの訓練でしたが、子どもたちは、そばにいる先生の指示をよく聞き、スムーズに避難することができました。

これからも本番をより想定した訓練を模索し、「自分の命は自分で守る」「正確な情報をより早くキャッチする」「慌てず落ち着いて対応する」等々、**子どもたちの危機対応能力**を育てていきたいと思ひます。

避難訓練

—休み時間の被災を想定—



—様々な場所から先生に誘導されて—



—上の階へと二次避難—



—クラスごとに避難状況を確認—



運動会に向けて

—練習順調で本番が楽しみ—

運動会を間近に控え、練習も佳境に入ってきました。今年は、天候に恵まれたことあり、どの学年も、順調に練習を進めることができています。応援合戦も見物で、毎年、運動会を大いに盛り上げてくれます。9月のある朝、応援歌『ゴーゴーゴー』を、6年生が下級生のクラスへ出かけ、歌と振り付けを教えてくれました。優しく、**低学年の子の目線**に立って、一生懸命に教えている6年生と、それに応えて元気に歌う下級生。素敵な交流を目の当たりにして、これまでの様々な活動を通して、**互いを思いやる“優しさ”**が着実に育ってきていることを実感しました。



—笑顔で優しく応援歌を教える6年生—



—日々の練習を支える陰の努力—
(早朝にラインを引く先生)



—昼休みも頑張る5年生—



—リーダーとサブリーダーを先頭に入場行進—



—小道具を使ったかわいい低学年の演技—



—振り付けをひとつずつ確認する中学年—



—手の先まで神経を行き届かせて—

追っかけ玉入れ

—運動会ふれあい競技—

参加者募集!



運動会で、地域の方々とのふれあいを深めることをねらって、『追っかけ玉入れ』を計画しています。甚西小のかわいい1年生も参加します。**1年生とっしょ**に、赤白に分かれて、楽しみながら競技をしていただきます。普通の玉入れと違って、**玉かご**が人が手で持って**移動**します。その**玉かご**を**追**いかけながら玉を入れ、たくさん入れた方を『勝ち』とします。当日、**放送にて、「参加」**を呼びかけますので、ぜひ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。